

## 2020年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年1月9日

上場会社名 株式会社コジマ  
 コード番号 7513 URL <https://www.kojima.net/corporation/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 木村 一義

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経営企画本部長 (氏名) 荒川 忠士

TEL 03-6907-3113

四半期報告書提出予定日 2020年1月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年8月期第1四半期の業績(2019年9月1日～2019年11月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期第1四半期	64,987	13.0	931	335.9	978	253.0	877	619.1
2019年8月期第1四半期	57,530	7.8	213	—	277	—	122	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年8月期第1四半期	11.30	11.30
2019年8月期第1四半期	1.57	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年8月期第1四半期	112,704	48,796	43.3
2019年8月期	109,335	48,681	44.5

(参考) 自己資本 2020年8月期第1四半期 48,791百万円 2019年8月期 48,681百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年8月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2020年8月期	—	—	—	—	—
2020年8月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年8月期の業績予想(2019年9月1日～2020年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	137,000	6.1	1,000	△58.1	930	△65.5	700	△71.2	9.02
通期	290,000	8.2	5,200	△19.1	5,200	△27.4	5,000	△24.3	64.42

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年8月期1Q	77,912,716 株	2019年8月期	77,912,716 株
② 期末自己株式数	2020年8月期1Q	300,919 株	2019年8月期	300,919 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年8月期1Q	77,611,797 株	2019年8月期1Q	77,911,797 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る現時点における仮定を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6
(会計方針の変更) .....	6
(会計上の見積りの変更) .....	6
(持分法損益等) .....	6
(追加情報) .....	6
(セグメント情報等) .....	6
(重要な後発事象) .....	6
3. 補足情報 .....	7
生産、受注及び販売の実績 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(2019年9月1日から2019年11月30日まで)におけるわが国経済は、輸出が引き続き弱含むなかで、製造業を中心に弱さが一段と増しているものの、景気は緩やかに回復しております。企業収益は高い水準にあるものの、製造業を中心に弱さが続いております。また、雇用情勢は改善が続いており、個人消費は持ち直しております。

当家電小売業界における売上は、消費税増税前の駆け込み需要が生じたこと等により、冷蔵庫や洗濯機といった白物家電のほか、テレビやパソコン、またゲーム等が好調に推移しました。スマートフォンやデジタルカメラ等が低調であったものの、総じて堅調に推移しました。

このような状況の中、当社は、「お客様第一主義を実践し、最高のサービスをお客様に提供することで社会に貢献する」の企業理念のもと、「お客様のくらしを『より快適に』『より便利に』『より楽しく』します。くらし応援コジマ」をスローガンに掲げ、ビックカメラとの統合効果を最大限に発揮し、企業価値の向上に取り組んでおります。

ビックカメラグループの幅広い取扱い商品を強みに、品揃えの拡充や専門性の向上に取り組み、モノからコト軸への提案を進め、更にお客様に体験価値や満足感を感じていただける展示・接客の充実に努めております。2019年10月12日に「コジマ×ビックカメラ 梶ヶ谷店」で腕時計の販売を開始し、11月2日に「コジマ×ビックカメラ 卸団地店」で酒類の販売を開始しました。これまで好評をいただいている店頭イベント「ミニ四駆大会」において、全国各地の予選会など、のべ1万人以上のお客様にご参加いただき、11月24日に「コジマ×ビックカメラ 静岡店」で「全国大会決勝戦 コジマ グランドキングカップ」(コジマ主催)を開催しました。これらの取り組みにより、店舗の更なる魅力度向上に努めております。

また、掃除機、調理家電など、生活シーンに合わせた快適性を体感いただける「ライブ販売イベント」の充実や、デジタル商品の買取や購入後のサポートを充実させた「サービスサポートカウンター」の設置店舗拡大に努めております。社員が直接お客様宅を訪問し困り事を解決する「コジマくらし応援便」の対象エリア拡大・サービスメニュー拡充など、コジマ独自の試みにより、地域の皆様からもっとも身近に親しまれ必要とされる店舗づくりに取り組んでおります。

さらに、2019年10月にヤフー株式会社が新たにオープンしたインターネット通販サイト「PayPay モール」へ出店いたしました。同じく10月に65歳以上のお客様を対象として、新たなポイントカード「アクティブ65倶楽部」を発行し、「コジマくらし応援便」や「サービスサポートカウンター」にて限定特典を受けられるなど、サービスを充実しました。これらの取り組みにより、お買物がもっと便利になる仕組みづくりも進めております。

店舗展開におきましては、2019年11月16日に「コジマ×ビックカメラ ワンズモール稲毛店」(千葉県千葉市)を開店した一方、「久喜店」(埼玉県久喜市)を閉店し、スクラップ&ビルドを進め、2019年11月末現在の店舗数は142店舗となりました。なお、「伊勢崎店」を同市内に移転し、12月21日に新たに「コジマ×ビックカメラ スマーク伊勢崎店」(群馬県伊勢崎市)を開店いたしました。

また、ご来店いただいたお客様の声を店舗づくりに反映し、更なる進化を目指すとともに、異業種とのコラボ店舗など、新たな店舗モデルの構築や出店形態の多様化に取り組んでおります。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は649億87百万円(前年同期比13.0%増)、営業利益は9億31百万円(前年同期比335.9%増)、経常利益は9億78百万円(前年同期比253.0%増)、四半期純利益は8億77百万円(前年同期比619.1%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ33億69百万円増加(前事業年度末比3.1%増)し、1,127億4百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少1億93百万円、未収入金の減少4億75百万円があったものの、売掛金の増加5億6百万円、商品の増加37億15百万円によるものであります。

当第1四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末に比べ32億53百万円増加(前事業年度末比5.4%増)し、639億8百万円となりました。主な要因は、前受金の減少10億27百万円があったものの、買掛金の増加20億64百万円、短期借入金の増加24億円によるものであります。

当第1四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末に比べ1億15百万円増加(前事業年度末比0.2%増)し、487億96百万円となりました。主な要因は、剰余金の配当(純資産の減少)7億76百万円があったものの、四半期純利益(純資産の増加)8億77百万円によるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年10月9日付決算短信発表時に公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年8月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,959	1,766
売掛金	12,158	12,664
商品	45,872	49,588
貯蔵品	204	192
前払費用	1,130	1,116
未収入金	2,049	1,574
その他	820	758
貸倒引当金	△205	△206
流動資産合計	63,989	67,455
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	9,560	9,540
土地	8,795	8,795
その他（純額）	1,599	1,602
有形固定資産合計	19,956	19,939
無形固定資産		
その他	864	859
無形固定資産合計	864	859
投資その他の資産		
前払年金費用	2,221	2,241
繰延税金資産	8,693	8,689
長期前払費用	600	578
差入保証金	12,747	12,669
その他	316	326
貸倒引当金	△54	△54
投資その他の資産合計	24,525	24,450
固定資産合計	45,345	45,249
資産合計	109,335	112,704

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年8月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	15,999	18,063
短期借入金	5,100	7,500
1年内返済予定の長期借入金	2,376	2,452
リース債務	303	257
未払金	4,570	4,591
未払法人税等	698	223
前受金	4,064	3,036
賞与引当金	975	1,542
ポイント引当金	2,000	1,968
店舗閉鎖損失引当金	260	221
資産除去債務	66	144
その他	1,819	1,606
流動負債合計	38,236	41,609
固定負債		
長期借入金	14,336	14,445
リース債務	622	575
商品保証引当金	708	640
店舗閉鎖損失引当金	741	722
資産除去債務	4,420	4,342
その他	1,587	1,572
固定負債合計	22,418	22,298
負債合計	60,654	63,908
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	25,975	25,975
資本剰余金	15,913	15,913
利益剰余金	6,971	7,073
自己株式	△155	△155
株主資本合計	48,704	48,806
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△23	△14
評価・換算差額等合計	△23	△14
新株予約権	—	4
純資産合計	48,681	48,796
負債純資産合計	109,335	112,704

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 2018年9月1日 至 2018年11月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)
売上高	57,530	64,987
売上原価	41,859	47,141
売上総利益	15,670	17,845
販売費及び一般管理費	15,456	16,914
営業利益	213	931
営業外収益		
受取利息	18	15
受取手数料	22	14
受取保険金	19	32
店舗閉鎖損失引当金戻入額	30	13
その他	21	13
営業外収益合計	111	89
営業外費用		
支払利息	36	28
支払手数料	6	6
その他	5	7
営業外費用合計	48	42
経常利益	277	978
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	68	10
リース解約損	1	—
特別損失合計	70	10
税引前四半期純利益	207	967
法人税、住民税及び事業税	34	90
法人税等調整額	50	—
法人税等合計	85	90
四半期純利益	122	877

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社には、音響映像商品・家庭電化商品・情報通信機器商品等の物品販売業部門以外の重要なセグメントがないため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。



3. 補足情報

生産、受注及び販売の実績

品目別売上高

品目別		当第1四半期累計期間 (自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)		
		売上高 (百万円)	構成比 (%)	前年同期比増減率 (%)
音響映像商品	カメラ	1,667	2.6	△1.1
	テレビ	5,456	8.4	30.6
	レコーダー・ビデオカメラ	1,494	2.3	4.3
	オーディオ	1,061	1.6	11.8
	その他	1,537	2.4	13.7
	小計	11,216	17.3	16.9
家庭電化商品	冷蔵庫	6,095	9.4	32.3
	洗濯機	4,839	7.4	20.9
	調理家電	4,034	6.2	12.3
	季節家電	6,296	9.7	10.5
	理美容家電	3,131	4.8	7.8
	その他	5,962	9.2	15.2
	小計	30,359	46.7	16.9
情報通信機器商品	パソコン本体	4,891	7.5	28.3
	パソコン周辺機器	2,075	3.2	18.1
	パソコンソフト	222	0.4	27.5
	携帯電話	5,531	8.5	△18.0
	その他	3,978	6.1	3.3
	小計	16,700	25.7	2.2
その他の商品	ゲーム	1,999	3.1	62.1
	時計	154	0.2	20.2
	スポーツ用品	319	0.5	26.4
	玩具	623	1.0	△2.8
	医薬品・日用雑貨	396	0.6	△7.1
	工事（住設含む）	1,341	2.0	13.8
	その他	1,369	2.1	9.8
	小計	6,203	9.5	21.4
物品販売事業		64,480	99.2	13.1
その他の事業		507	0.8	0.5
合計		64,987	100.0	13.0

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。